



桐花

大槌町立吉里吉里学園
小学部 通信 No19
令和6年2月1日
文責 藤井

吉里吉里学園小学部の校報「桐花」は右のQRコードを読むことによってカラー版をご覧いただくことができます。(大槌応援団サイトへ) →



6年生「ふるさと科」の実践発表



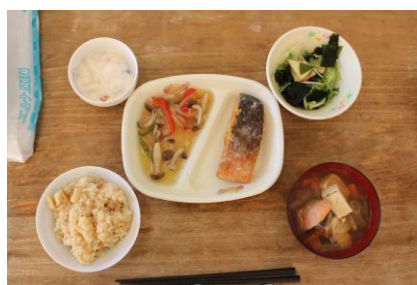
1月25日(木)大槌町文化交流センター(おしゃっち)で開催された児童生徒実践交流発表会で、6年生6名がふるさと科でこれまで取り組んできた「鮭の学習」を発表しました。

この会には大槌町長様、大槌町両学園の先生方、大槌高校の先生方、町内幼保子ども園の先生方他、日ごろお世話になっている地域の方々が参会しました。

「ご祝い」の唄を高らかに唄いながら入場した6年生6名は大槌の伝統食材鮭にかかわる歴史や新巻づくりの様子、大槌サーモンと桃畑学園サーモンについてこれまで探求しまとめた内容を、クイズを取り入れながら元気に発表しました。

発表の中でも紹介しましたが、1月19日(金)には、**鮭(大槌サーモン)の料理教室**を「吉里吉里漁協婦人部」の皆様のご指導を頂きながら実施しました。とてもおいしい料理が出来上がり子ども達も大満足でした。

大槌町役場産業振興課の黒澤様より心暖かい感想を頂戴し、今後も私たちの学習を応援して下さいという頼もしいお言葉をいただきました。



能登半島地震への支援協力に感謝



義援金と一緒に笑顔を届けましょう

元日、午後4時10分頃石川県志賀町を震源に震度7の地震が発生し、建物の倒壊や火災、さらに津波の発生により甚大な被害が出ました。始業式でも「石川県の皆さんのために何かできることはないか考えましょう」と呼びかけました。本校においては児童会が中心となり「災害義援金」のご協力をお願いし保護者の皆様にはご協力を頂き感謝いたします。石川県では大雪も降り、仮設住宅の建設も始まりましたがまだまだ十分ではなく、今も生活に困窮している方々も多数いらっしゃいます。石川県の皆様のご健康と一日も早い復興を願ってやみません。

吉里吉里の海でとれた白ナマコ



展示後は大槌の海洋研究所で貴重な資料として標本となるそうです



日本の海域には黒ナマコ 青ナマコ 赤ナマコの3種類が生息していますが、吉里吉里の海で白いナマコが水揚げされました。とても珍しいナマコなので、学校の子ども達にみせたいというお話を頂戴し、1月30日～2月1日の期間中展示しました。提供して下さったのは、吉里吉里に移住しプログラミングの仕事と副業で漁師を営んでいる、「中本健太さん」です。元東大研究所におり、海が好きで吉里吉里に移住なさったそうです。ナマコは縁起が良い食べ物でお正月の料理でもおなじみですが、更に白という事で、とても縁起がいいかもしれませんね。

大谷選手ありがとうございます

大谷選手からいただいたグローブを子ども達は休み時間や体育の授業で使っています。休み時間にみんなが平等に使えるように先生方が学年ごとの使い番を決めて下さいました。今まで野球をしたことのない子も初めてのキャッチボールを楽しんでいます。



女子も使える柔らかくて軽いグローブです



グローブでナイスキャッチできたかな?